

前回のまちづくり懇話会意見に対する対応

主な意見	対応・方向性
○マップ作成について ・区役所に各校区の範囲を示す東区の全体表示板（地図）のようなものが必要。 ・託麻散策マップ同様の取組みを各地区で行ってはどうか。 ・各地域のまつりをまとめたものなど、東区のよい面を発掘・整理。 ・様々な朝市やイベントなどまとめたものを作成してはどうか。 ・各地域でも自分達の地域を学び、マップにまとめるといった取組みを東区の全地域で実行していく長期的ビジョンがあっても良いと思う。 ・託麻散策マップの中にカフェや食事処、宿泊施設など様々な情報を盛り込んでいければと考えている。 ・東区を全体でまとめるようなことが出来ないか。世代別マップや地域別マップなどマップ作りがきっかけとなって東区がまとまればよいと思う。	現在、区では、託麻史跡めぐり等マップや地域版ハザードマップ等作成しており、各地域では、安全安心マップ、健軍地区商店街マップ、子育てマップ、健康マップ等を作成されている。 マップ作成の過程や完成後の活用により、様々な交流や意識の向上等、地域の活性化につながるものであるため、今後、区役所内各課において、どのようなものが必要か等の検討を行っていく。
○自治会加入率の低下・情報周知について ・自治会加入率が減少しているのは、マンション入居者の自治会加入率が低いからなのではないか。 ・例えばマンションについて、社宅として利用されているところは、土日は地元の市外へ帰る。また、管理人も他地域から来ている等、地域との交流がないといった問題もある。また、公営住宅における自治会脱退者が増えている。自治会役割の明確化や行政窓口の1本化を進めていくべき。 ・マンション、アパート居住者を対象にアンケート調査を行うと違う結果が出るのではと思う。ほとんど自治会に関与していないのではないか。様々な問題も見えてくるのではないだろうか。	今年度、地域課題検討会において、「地域活動への理解促進及び新旧住民の交流」、「団体の情報提供」について検討を行うこととしており、懇話会へ報告を行う予定。

主な意見	対応・方向性
○環境保全と活用について ・託麻三山についてであるが、竹の広がりが問題になっている。伐採して捨てるだけではゴミが増え、費用もかかるため解決しない。NPO 法人等と協力し、竹墨作りをするなど循環型の産業につなげていくべきではないか。	市有地については、地元の4つの町内が「小山山里山づくり協議会」を設立し、市が竹林を伐採した区域を地元が維持管理するなどの委託契約を市東部土木センターと締結し、取り組みをすすめている。 民有地については、市の竹林整備に係る助成制度を活用した取り組みができないか、地元で検討中である。
○若い力の活用について ※資料2	※協議項目